

授業予定表 前期 1学年

科目名: 建築概論		学科: 通信制二級建築士受験科	授業形態: 講義・実習
回数	映像教材配分	授 業 概 要	教 具
1	4月	建築とは	映像教材
		建築の起源、建築の様式など	テキスト
2	4月	設計・デザイン	映像教材
		建築デザイン、都市計画、構造デザインなど	テキスト
3	4月	工法	映像教材
		工法の種類、木構造、RC構造、鋼構造など	テキスト
4	5月	法規	映像教材
		建築法規、建築基準法、確認申請、品確法など	テキスト
5	5月	施工	映像教材
		施工の形態、施工計画、地盤調査、基礎工事など	テキスト
6	5月	住宅	映像教材
		住宅の変遷、戸建て住宅、集合住宅、タウンハウスなど	テキスト
7	5月	設備	映像教材
		設備と省エネ、給排水、空調和、省エネと創エネなど	テキスト
8	6月	建築材料	映像教材
		建築材料の種類、組積材、ガラス、木材、コンクリートなど	テキスト
9	6月	リノベーション①	映像教材
		リフォームの種類、設計の流れ、部分リフォームなど	
10	7月	リノベーション②	映像教材
		設計の流れ、増築・減築、マンションリフォームなど	
11	7月	スクーリング 12㎡のホビースペース・ワークスペース設計①	プリント
		課題説明、エスキス作成	製図道具
12	8月	スクーリング 12㎡のホビースペース・ワークスペース設計②	プリント
		エスキスチェック	製図道具
13	8月	スクーリング 12㎡のホビースペース・ワークスペース設計③	プリント
		プラン完成、平面図・パース作成	製図道具
14	8月	スクーリング 12㎡のホビースペース・ワークスペース設計④	プリント
		立体表現	製図道具
15	9月	スクーリング 12㎡のホビースペース・ワークスペース設計⑤	
		課題提出・プレゼンテーション	

単位数	使用教科書	使用教材
2	世界でいちばんやさしい建築入門	映像教材・プリント、製図道具
授業時数 通信制の授業:45単位時間 対面授業:15単位時間		
目標 これから専門的に建築デザインを学び始める方のために、建築士の関連する項目を中心に、建築全般について基本的な知識を身につける。 併せて、後半のスクーリング演習で、まずは小スペースの部屋を題材に、基本的な設計の考え方を身につける。		方針 映像教材、レポート課題、小テストを通じて建築デザイン全般の基本的な知識を身につけていく。 演習課題では、設計条件をもとに、エスキス、図面作成、プレゼンテーションの基礎技術を身につける。
評価方法 小テスト、レポート提出、課題提出、eラーニング視聴による評価		
担当講師 飯田 有登		実務経験無し 一級建築士
担当講師 黒田 幸弘		実務経験有り 一級建築士
担当講師 朝原 敏夫		実務経験有り 一級建築士

授業予定表 後期 1学年

科目名: **建築環境** 学科: **通信制二級建築士受験科** 授業形態: **講義**

回数	映像教材配分	授業概要	教具
1	10月	地球環境と建築、温熱環境①	映像教材
		地球温暖化、ヒートアイランド、大気汚染等、温度と熱移動	教科書
2	10月	温熱環境②	映像教材
		室温、断熱	教科書
3	10月	温熱環境③	映像教材
		湿度と結露	教科書
4	11月	温熱環境④	映像教材
		体感温度	教科書
5	11月	温熱環境⑤	映像教材
		日照、太陽位置、日照	教科書
6	11月	温熱環境⑥	映像教材
		日影、日射	教科書
7	12月	スクーリング 中間試験	
8	12月	光環境①	映像教材
		照度と輝度、人工照明	教科書
9	12月	光環境②	映像教材
		照明計画、色彩	教科書
10	1月	空気環境①	映像教材
		換気の目的、シックハウス、	教科書
11	1月	空気環境②	映像教材
		自然換気、機械換気、換気計画	教科書
12	2月	音環境①	映像教材
		音の性質	教科書
13	2月	音環境②	映像教材
		室内の音(吸音、遮音)	教科書
14	3月	音環境③	映像教材
		反響、残響、騒音と振動	教科書
15	3月	スクーリング 単位認定試験	

単位数	学生使用教科書	学生使用教材
2	図説 やさしい建築環境	映像教材、定規、電卓、ノート
授業時数 通信制の授業:45単位時間 対面授業:15単位時間		
目標		方針
建築の分野における建築環境の基礎知識を学び、身に付ける。		建築・インテリアの基礎知識を環境工学分野を中心に映像教材・教科書を通じて学習し、他科目のデザインや設計作品に連動させる。試験を通じて、建築士として必要な知識の定着度を図る。
評価方法 試験、出席時間数、eラーニング視聴率による評価		
担当講師 山本 響		実務経験有り 一級建築士

授業予定表 後期 1学年

科目名: 一般構造Ⅱ 学科: 通信制二級建築士受験科 授業形態: 講義

回数	映像教材配分	授業概要	教具
1	10月	鉄筋コンクリート造①	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		コンクリートと鉄筋の特徴	
2	10月	鉄筋コンクリート造②	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		鉄筋コンクリート造の特徴と原理	
3	10月	鉄筋コンクリート造③	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		鉄筋コンクリート構造(鉄筋の配筋計画)	
4	11月	鉄筋コンクリート造④	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		壁式鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック造	
5	11月	鉄筋コンクリート造⑤	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		SRC造、プレストレストコンクリート造	
6	12月	スクーリング	
		中間試験	
7	1月	各部工法①	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		屋根	
8	1月	各部工法②	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		壁	
9	1月	各部工法③	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		床	
10	2月	各部工法④	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		天井	
11	2月	各部工法⑤	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		開口部	
12	3月	各部工法⑥	映像教材 建築資料ビジュアルハンドブック 図説やさしい建築一般構造
		和室	
13	3月	スクーリング	
		期末試験	
14			
15			

単位数	学生使用教科書 図説 やさしい建築一般構造 建築資料ビジュアルハンドブック	学生使用教材 映像教材、定規、電卓、ノート
授業時数 通信制の授業:45単位時間 対面授業:15単位時間		
目標	方針	
一般構造Ⅰとあわせて建築士として一般構造の基礎知識を学び、身に付ける。	建築における一般構造分野における基礎知識を、基礎、木構造、RC構造、鉄骨構造等の基本的な枠組みでとらえ、映像教材、テキスト、校外実習を通して学ぶ。適宜、試験を行うことで、建築士として必要な一般構造の知識の定着を図っていく。	
評価方法	試験、スクーリング時の出席状況、eラーニング視聴率による評価	
担当講師	黒田 幸弘	実務経験有り 一級建築士